

鉄道ピクトリアル

2010年3月号 Vol.60 No.3 通巻No.831

<特集> 機関区

■表紙 旧会津若松機関区の転車台に載るC57 180……森谷 正史

会津若松 2009-12-20

■グラフ

時の風景 (1~8ページ)

河原慶明・進藤 匡・山中 茂・森谷正史・白土洋次
……………澤木良直・尾崎 涉・岸 孝・浜村正弘・真鍋裕司
渡邊裕太郎・静 拓志

*

蒸機全盛時代の機関区風景 ……………伊藤 昭・伊藤威信… 25
往年の機関区に拾う ……………構成：編集部… 28
東海道筋電機の名門 東京機関区の消長 ……………構成：編集部… 32
私鉄の機関区 ……………解説：生方良雄… 36
D51その一族—1115分の1の素顔—(112)……………構成：編集部… 38
現存する東清鉄道の扇形庫 ……………服部 朗宏… 40

*

Pictorial Color Gallery 赤城風吹く頃 ……………大野 義久… 73
〔富山市に路面電車の環状線が開通／富山地方鉄道デ9000
形／伊賀鉄道200系登場／明治村の蒸気動車キハ6401をJR
東海名古屋工場へ搬入／JR西日本C57 1全検入場ほか〕 76~81
トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)…………… 82
JR東日本201系 2009年下半期の動向 ……………石田 敦巳… 90
仙石線103系の軌跡(Ⅱ)……………永尾 信幸… 92
ヤンゴンの日本型気動車 ……………斎藤 幹雄… 94
神戸電鉄 車両と沿線の話／紀州鉄道キハ603が引退
……………米倉裕一郎／藤井信夫… 96

■本文

今月の話題：機関区 ……………編 集 部… 9
往年の国鉄機関区概観 ……………岩成 政和… 10
JR貨物の機関車検修基地 ……………菅野 崇… 21
東海道線の電機運転と東京機関区 ……………杉田 肇… 42
転車台、扇形庫の技術過程 ……………小西 純一… 46
カマ屋のこぼれ話 機関区の仕事編 ……………松本 正司… 56

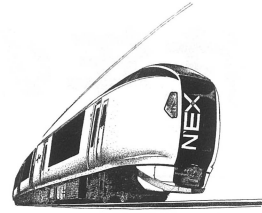
*

鉄道の話 ……………編 集 部… 41
ヤンゴンの日本型気動車—ミャンマーへ渡った日本の車両—
……………斎藤 幹雄… 64
JRグループ2010年3月ダイヤ改正の概略 ……………編 集 部… 71
JR九州キハ125形400番代「海幸山幸」……………岩崎卯一郎… 97
205系電車登場当時とその新製期間中の配置・転用状況(Ⅱ)
……………小樽 宏明…100
国鉄~JR長距離夜行普通列車のあゆみ—1970年代~現在—
……………三宅 俊彦…109
『鉄道統計年報』の読み方、使い方……………三木 理史…115
書評(554)『Railway Operators in Japan』……………和久田康雄…117
12月のメモ帳……………118
読者短信・情報ファイル……………119
後部車から……………123

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

機関区

鉄道の車両はさまざまであり、その基地もさまざまな形態がある。車両基地のイメージを思い起こせば、世代や好みによっても異なるだろうが、国鉄時代を知っている世代にとっては「機関区」や「電車区」「客貨車区」といった名称が最も印象に残っているのではなからうか。明治期の鉄道創設期から大正、昭和初期にかけては「機関庫」「電車庫」などと称されていたが(現業長は主任)、1936(昭和11)年に「庫」が「区」に変わり、その後受け継がれてきた「機関区」「電車区」などの名称が誕生した。機関区は言うまでもなく機関車の基地であり、蒸気機関車全盛時代、扇形庫と転車台、そして給炭・給水など大がかりな諸設備が規模の大小を問わず、一般的には機関区の象徴となっていた。動力近代化により電気機関車が増強されると、扇形庫から方形庫が主流となり、機関区のスタイルも大きく変貌を遂げていった。

昭和20年代末、国鉄には185の機関区と68の機関支区、23の電車区と1の支区、97の客貨車区、11の客車区、22の貨車区と78の客貨車支区が存在した。車両基地は運転の要の一翼であり、重要な役割を果たしてきた。したがって、組織を含めてその後の鉄道の発展とともに進化を続け、国鉄では1961(昭和36)年以降、機関車、気動車、電車など各車種の検修を一元的に管理する運転所、運転区が誕生し、さらに時を経てJR各社が発足後は、車両所、車両センターなど多彩な名称が出現し、工場機能と一体化した基地も見られるようになった。今日ではJR旅客会社からは「機関区」の名称は消えてしまったが、JR貨物においては基地名称として「機関区」が残されており、往年の機関区全盛時を知る向きにとっては懐かしく思われるであろう。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan